



家庭数

九条弘道

— 学校だより —

京都市立九条弘道小学校
校長 木村 和夫
令和4年3月22日
後期学校評価号

「R3年度後期学校評価アンケート」の集計結果をお知らせします

本校では、年2回(前期・後期各1回)、教職員、子ども、保護者の方々に対して「学校評価アンケート」を実施しております。このアンケートは、現在進めている本校の教育を振り返り、成果と課題を明らかにし、本校教育をさらに充実させていくために活用しています。

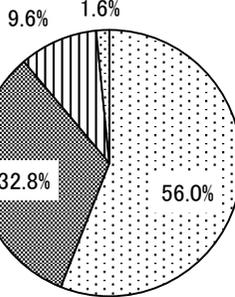
後半アンケートの集計結果をご覧いただき、子どもたちをよりよく育むために学校、家庭、地域で今後できることをぜひそれぞれのお立場で考えてみていただければと思います。



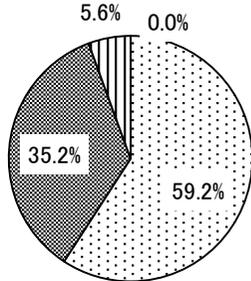
Tel:671-6981 Fax:691-3458 <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/kujokodo-s/>

R3「子どもアンケート(後期)」集計結果

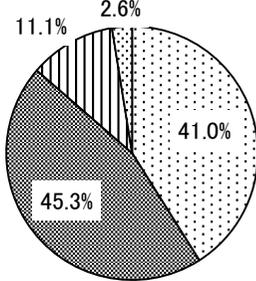
①学校生活が、楽しい。



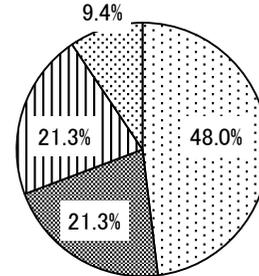
②授業は、めあてとまとめふりかえりがはっきりしていて、分かりやすい。



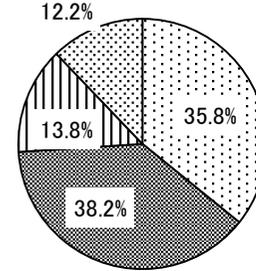
③授業中、しっかり話を聞いて、学習に取り組んでいる。



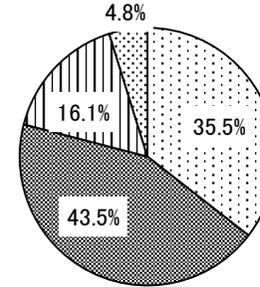
④家で、15分×学年以上の学習(自学自習も含めて)がいつもできている。



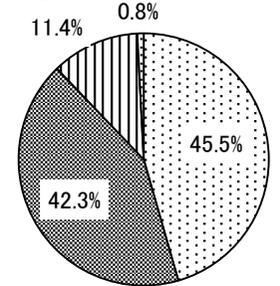
⑤図書館を利用するなどしながら、学校でも家でも進んで本を読んでいる。



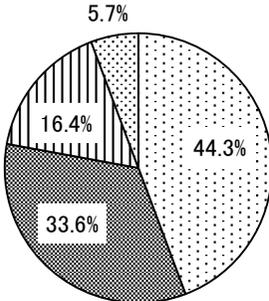
⑥友達の気持ちを考え、だれとでも仲良くできている。



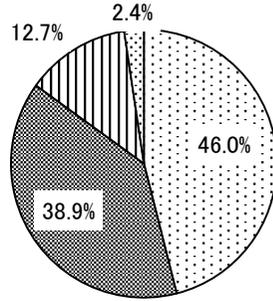
⑦学校のきまり「九条弘道っ子のやくそく」をしっかり守っている。



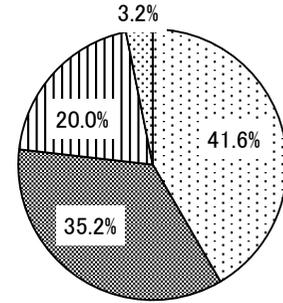
⑧相手を意識して進んで自分の意見を話している。



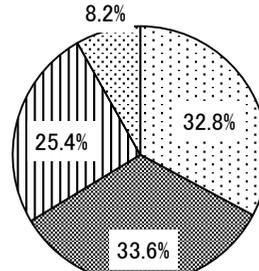
⑨そじの時間は、すみずみまできれいにしている。



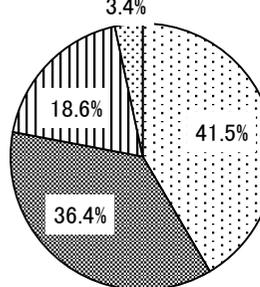
⑩誰にでも、自分から進んであいさつしている。



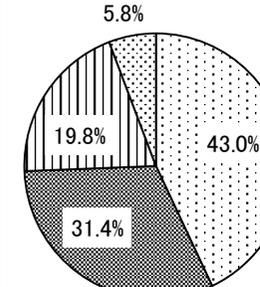
⑪クラスの人や他学年の人、学校などの役に立っている。



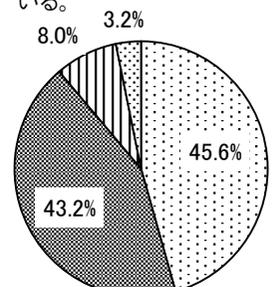
⑫自分がしたこと、人に「ありがとう」と言ってもらえたり、ほめてもらったしている。



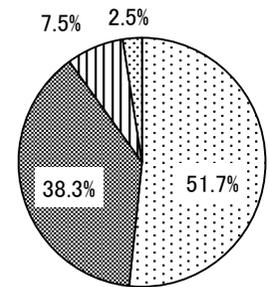
⑬早寝・早起き・朝ごはんなど、健康に気がつけた生活ができている。



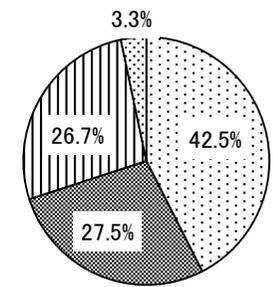
⑭家で、えんぴつをけずるなどの学習準備をして、忘れ物のないように気をつけている。



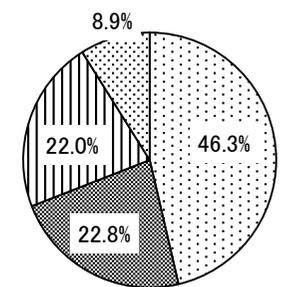
⑮日ごろから安全に気がつけた行動ができている。



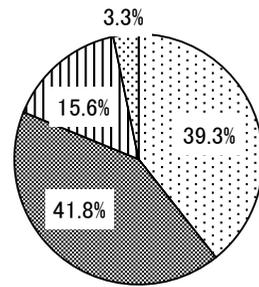
⑯家で、お手伝いをしている。



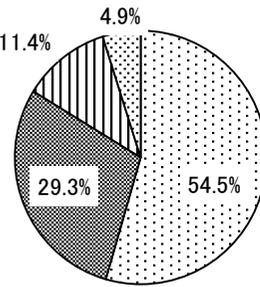
⑰家の人に、学校であったことを何でも話している。



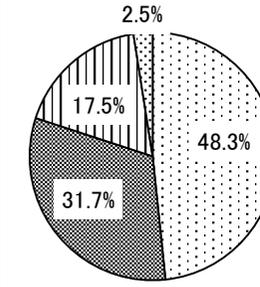
⑱学習したことを生活の中で生かしている。



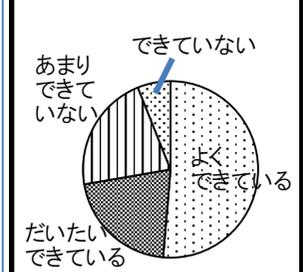
⑲目標に向かってねばり強く取り組んでいる。



⑳友だちの意見を聞き、自分の考えに取り入れている。



円グラフの見方



R3 「保護者アンケート（後期）」集計結果

質問項目	重要度	実現度	ニーズ度
子どもは、楽しく学校生活を送っている。	6.9	5.9	14.5
子どもたち一人ひとりが大切にされ、認められる学校になっている。	6.8	5.2	19
授業は、分かりやすく工夫されている。	6.8	5.3	18.4
子どもが楽しく学校生活を送れるように、生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)を整えている。	6.7	5.2	18.8
気になることがあれば、気軽に学校に相談できる。	6.7	5.3	18.1
子どもは、時間を意識した生活をしている。	6.6	4.4	23.8
子どもは、明るく元気なあいさつをしている。	6.6	4.7	21.8
子どもは、家庭学習の習慣が身についている。	6.6	4.8	21.1
「おはよう」や「おかえり」などのあいさつを大人からするようにしている。	6.6	6	13.2
子どもの話を手を止めて聞いている。	6.5	4.1	25.4
子どもは、目標に向かって粘り強く取り組んでいる。	6.5	4.2	24.7
子どもが自分で決めて行動する機会を多くとっている。	6.5	4.5	22.8
社会や人のために行動しようとする姿をほめ、大人も心がけている。	6.5	4.9	20.2
子どもが家庭で学習できるように、環境を整えたり、言葉かけをしたりしている。	6.5	5	19.5
意見の違いや立場の違いを理解できるように、子どもに声かけをしている。	6.5	5.1	18.9
子どもは、他者の意見を聞き、自分の考えに取り入れている。	6.4	4.3	23.7
子どもは、学習したことを生活の中に生かしている。	6.4	4.7	21.1
子どもに本とふれ合わせたり、読み聞かせをしたりしている。	6.1	3.5	27.5
子どもは、家で進んで読書をしている。	6.1	3.7	26.2
学校は、ホームページで学校の様子を積極的に伝えている。	6.1	5	18.3
子どもは、だれとでもなかよくしている。	6	5.4	15.6

「保護者アンケート集計結果」の見方

重要度 保護者の方が重要だと考えている割合 (最高値は7)
実現度 どの程度実現できているかを自分の子どもの姿を見て数値で表したもの(最高値は7)

- 「重要度」、「実現度」とも7に近いほど、重要であり、また実現できているということになります。
- 特に「高いもの」と「低いもの」は枠を変えてあります。(高い…太枠、低い…二重枠)

質問項目	重要度	実現度	ニーズ度
子どもは、楽しく学校生活を送っている。	7	5.8	15.4
子どもは、家庭学習の習慣が身についている。	6.6	5	19.8
子どもは、家で進んで読書をしている。	6.1	3.9	25
子どもは、明るく元気なあいさつをしている。	6.7	4.7	22.1

ニーズ度 ●「重要度」×(8-「実現度」)で計算し、数値化したもの
 ●重要だと考えているにも関わらず、実現ができていないほど数値が高くなります。
 →「ニーズ度」の数値が高いものほど、課題性があるといえます。
 「25」以上のものを「重点課題」とし、色づけしてあります。

例 「重要度」=7、「実現度」=2の場合 $7 \times (8 - 2) = 42$ 課題性(大)
 「重要度」=5、「実現度」=6の場合 $5 \times (8 - 6) = 10$ 課題性(小)

【考察】「後期学校評価アンケート」

【子ども・保護者アンケートより】

- ◆学校が楽しいと肯定的に回答している児童の割合は約9割でした。前期と比べて少し下がっています。活動に制限がかかり、多くの行事が中止されたことが原因として考えられます。また、学校生活の楽しさは友だちと仲良くできているかということと一番関わりがあるということが今回のアンケートの結果で出ていま

		質問1 学校生活が、楽しい。(実現度)			
		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
質問2 友達の気持ちを考え、だれとでもなかよくできている(実現度)	よく出来ている	37	6	1	0
	大体出来ている	25	25	4	0
	あまり出来ていない	3	9	5	0
	出来ていない	2	0	2	2

した。下の表から「だれとでも仲良くできている」と肯定的に回答している児童の95%の児童が「学校生活が楽しい」と肯定的に回答していることがわかります。友達と仲良くできることが学校生活の楽しさを左右します。

学校の行事や活動を充実させていくとともに「さみしい思い」をしている子どもがいないかということにアンテナを張り、子どもたちが生き生きと活動できる学校をめざしていきます。

- ◆「誰とでも仲良くできている」と感じている子どもは、「相手を意識して進んで自分の意見を話している」「掃除の時間は隅々まできれいにしている」「誰にでも自分から進んで挨拶をしている」の項目でも肯定的な回答が多い傾向がありました。相手意識を持つこと、みんなのために活動すること、自分から進んで行動することが誰とでも仲良くできるために大切なことであることを示しているように思います。仲良くすることを気もちにうったえるだけでなく、具体的な行動として「自分の意見を話す」「掃除をする」「挨拶をする」ということを実践していくことで、誰とでも仲良くできる姿が増えていくのではないと思います。これからも授業や学校生活の中で充実を図っていきます。

後期学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケート結果をご覧いただきご意見、ご感想等ございましたら、学校までお知らせください。